

J A伊勢(三重)DX認定

系統組織で全国初

【三重・伊勢】JA

伊勢は11月、経済産業省のDX(デジタルトランスフォーメーション)認定制度に基づく「DX認定事業者」に認定された。JA系統組織での認定は全国で初めて。

JAは、持続可能な経営基盤の確立・強化に向けた取り組みとして2021年に「3Cプログラム基本計画」を策定。22年度には、

構築した。

「DX認定事業者」の認定は、これら複数のDX化の取り組みで、組合員や利用者の利便性向上、業務の効率化が実現したことが評価されたことが理由だ。

JAの西村隆行組合長は「3Cプログラムの達成には、DXの取り組みは必要不可欠。今後も新たなシステムやサービスを創ることで、組合員・地域住民に貢献していきたい」と話す。DX認定は20年5月施行の情報処理促進法に基づく制度。11月1日時点での認定事業者は全国で859件に上る。

IT・DX対策課を設け、積極的にDXを推進してきた。同課の設置後、定型業務の自動化や、電子決裁システムのデジタル化などに取り組み、業務を効率化する。また、組合員に関連する取り組みとして、スマートフォンなどで申し込める販売荷受け出荷業務システム、水稻苗の注文やライスセンターの利用を予約できるシステムを